

旧生活家庭館解体工事における

土壌調査（アスベスト）の予備調査結果について

旧生活家庭館の解体工事において、不適切に処理された金属屋根の撤去作業時に、アスベストが落下していないか等を把握するため、地表面等を調査します。

調査に先立ち、令和元年12月2日、市、林光土建株式会社、及び第三者機関の中立・公正な立場でこの専門的な調査を行う、一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会（以降「協会」という）の3者で現場確認を行いました。

その際、協会が土壌調査の位置と箇所・範囲等、今後の調査方針を検討するための予備調査として、撤去時に金属屋根材を一時仮置きした玄関の屋根で、泥などの堆積物を採取しました。

協会が堆積物を分析した結果、12月6日、アスベストの繊維束1個を発見されました。その後、12月13日までにその他にアスベスト繊維がないことを確認されました。

アスベストの繊維束1個を発見した12月6日、すみやかに玄関の屋根全面をシートで覆う保全措置を行いました。

今後、協会の助言を受けながら調査方針を決定し、年内に試料採取を行い1カ月程度で結果が出る予定です。